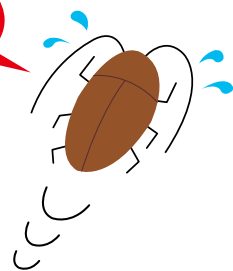


夏は害虫対策を!

ゴキブリ
バージョン



夏本番を迎え、ますます害虫が増える季節になります。害虫の中でも最も嫌なものと言ったら、やはり「ゴキブリ」! ゴキブリは、雑食性なので、人間の食べ物はもちろんのこと、化粧用クリーム、消しゴム、髪の毛、ダニの死骸などあらゆるものを食べます。

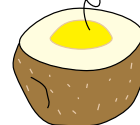
きちんとしたゴキブリ対策をして、確実にゴキブリを減らしましょう。

杉の香りや、ホウ酸を利用する

ゴキブリは、杉の葉に多く含まれる精油の香りが嫌いです。杉の葉の精油を台所の狭い所や風呂場にふりかけておくとよいでしょう。精油は販売していますが、作ることもできます。杉の葉を細かく刻み、ミキサーで水と混ぜて煮立てて蒸気を集め、冷やすと上澄みに精油ができます。また、じゃがいもの中をくり抜き、ホウ酸を塗り込むホウ酸じゃがいももおすすめです。



ホウ酸



食料品は、 密封して保存

100円ショップなどで安価に購入できるタッパーや瓶などの密封容器の中に、乾き物や砂糖など食料品を保存しましょう。インスタントコーヒーやジャムなどの空き瓶を使うのもおすすめです。小さめの食料品などは、ファスナー付きナイロン袋が便利です。とにかく、ゴキブリが侵入しないように食料品を完全に密封するのがポイントです。



生ゴミは、 その日のうちに処分

生ゴミは、ゴキブリにとって宝物です。できることなら、その日のうちに処分するのがベストです。その日のうちに処分できない場合は、生ゴミの水気を取り、しっかりと口を塞ぎましょう。また、おすすめは、ふた付きのゴミ箱です。ゴキブリやハエを防ぐだけでなく、匂いも防いでくれます。ベランダへの生ゴミ放置は、ゴキブリを寄せ付けるので絶対にやめましょう。



こまめに 掃除機をかける

掃除機は、ゴキブリのえさとなる様々なものを吸い込んでくれます。特に、台所を中心に徹底的に掃除機をかけましょう。穴や隙間があれば、中のホコリを全て吸い尽くすつもりで、とにかくキッチンからホコリは全て取り除き、ゴキブリのエサを無くしてしまうことが大切です。掃除機が終わったら紙パックの交換を。ゴキブリの卵を吸い込んでいたら、孵化してしまうからです。